

提供日 2020/10/09
タイトル マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう
担当 健康福祉部 医療局疾病対策課
連絡先 感染症対策班
TEL 054-221-2986



—危機管理情報—
マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう！
～今年7例目の「日本紅斑熱」患者が発生しました～

1 要旨

静岡県湖西市在住の70歳代女性が9月20日頃、発熱、発疹が現れ、10月5日に静岡県西部保健所管内の医療機関を受診、ダニが媒介する感染症を疑い、入院となりました。発疹部の痂皮を検体として県環境衛生科学研究所で検査を行ったところ、10月8日に日本紅斑熱の病原菌遺伝子が検出され、日本紅斑熱であることが確認されました。

患者は、発症する2日前に自宅近くの畑で作業をしており、ダニに咬まれた自覚はありませんでしたが、診察で左脇にダニの刺し口が確認されていることから、

日本紅斑熱の病原体を保有するマダニに咬まれたことで感染したと推定されています。患者は現在入院加療中で、快方に向かっています。

本県では、今年は本例を含めて7件（5月2件、7月2件、8月1件、9月1件、10月1件）の日本紅斑熱が報告がされています。

昨年10件（5月2件、6月1件、7月2件、9月1件、10月3件、11月1件）の日本紅斑熱が報告され、記録を始めた2000年以降最多でした。

昨年は10月、11月に全体の4割の患者が集中しており、ハイキング、河川敷のバーベキューや農作業などで野山や草むら、畑などに入る場合には長そで、長ズボン等のダニ対策をお願いします。

2 日本紅斑熱とは

(1) 感染経路

- 日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有する **マダニに咬まれることで感染します。**
- **人から人へ感染して広がることはありません。**

(2) 症状・治療

- マダニに咬まれてから2～8日で、**発熱、発疹**を呈し、重症化すると死に至ることもあります。
- **治療の第一選択薬はテトラサイクリン系抗菌薬で、ニューキノロン系抗菌薬が有効**という報告もあります。

3 注意喚起

(1) マダニに咬まれないようにしましょう！

- 特にマダニの活動が盛んな、**春から秋にかけて注意が必要**です。
- **野山や草むら、畑など**に入る場合は、耳を覆う帽子、首に巻くタオル、**長袖、長ズボン**、足を完全に覆う靴を着用し、**肌の露出を少なく**してください。
- マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(2) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

- マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- 発熱・発疹の症状が見られたら、**早めに医療機関を受診**し、マダニに咬まれた可能性があることを医師に伝えましょう。

4 県内の日本紅斑熱の患者数

令和2年は10月9日時点

本県では、平成12年から令和2年まで31名の患者が届出されており、届出患者の住所地は県東部で26名、県西部で4名、その他（県外）が2名。

	全国	静岡県 ()内は死亡患者数再掲	患者 性別・年代・住所地・発生月
平成12年	38	1	1.男・60歳代・沼津市・9月

平成25年	175	1	1.女・60歳代・伊豆の国市・7月
平成27年	215	2(1)	1.男・60歳代・沼津市・8月 2.女・70歳代・伊豆の国市・6月※
平成28年	277	2(1)	1.男・70歳代・伊東市・11月 2.女・70歳代・沼津市・5月※
平成29年	337	6(2)	1.女・80歳代・熱海市・6月 2.男・50歳代・伊豆の国市・9月 3.女・70歳代・沼津市・9月※ 4.男・70歳代・沼津市・9月 5.女・80歳代・沼津市・9月※ 6.女・70歳代・沼津市・10月
平成30年	305	3	1.男・50歳代・三島市・3月 2.男・70歳代・伊東市・8月 3.女・70歳代・伊東市・10月
令和元年	318	10(1)	1.男・70歳代・神奈川県湯河原町・5月 2.女・70歳代・熱海市・5月 3.女・50歳代・県西部地区・6月 4.女・70歳代・伊豆の国市・7月※ 5.女・70歳代・熱海市・7月 6.女・40歳代・掛川市・9月 7.男・60歳代・熱海市・10月 8.女・70歳代・駿東郡清水町・10月 9.男・20歳代・伊東市・10月 10.女・70歳代・浜松市・11月
令和2年	286	7	1.女・70歳代・熱海市・5月 2.男・50歳代・熱海市・5月 3.女・90歳代・熱海市・7月 4.女・90歳代・南伊豆町・7月 5.男・70歳代・県外・8月 6.男・70歳代・熱海市・9月 7.女・70歳代・湖西市・10月

平成30年の3例は、平成29年10月に発症したが、検体量が少なく平成30年に入って診断された1例を含む。
※亡くなられた方。